

単元名 だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう

配当時間 4時間

単元の目標 (1) アクセントによる語の意味の違いなどに気付くことができる。
 (2) 自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。
 (3) 自分が聞きたいことを集中して聞き、メモしながら聞き取ろうとする。

標準的な展開例

02010106_001

【教材名】ともだちを さがそう (上 P. 34～P. 37)

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|---|---|
| <p>1 遊園地の挿絵を見ながら、友達探しをすることを知り、学習の見通しをもつ。 ★どのような人がいるか絵を見て話そう。 ○学校生活で先生や友達のお知らせを聞くときに、気を付けていることやそのわけを話し合う。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>○教科書 (P. 35) の挿絵を見ながら、どのような人がいるのか話し合う。</p> <p>2 「まいごのお知らせ」を聞き、「ゆかさん」を探す。 ★お知らせをよく聞いて迷子を探そう。 ○話を聞くときに大事なことを話し合う。</p> <p>○迷子のお知らせを聞いて、絵の中から探す。</p> <p>○ゆかさんのいる場所を確認し、聞き落としていたら困っていたことを話し合う。</p> <p>3 絵の中から人物を選び、ペアで迷子のお知らせをしてその子を探す。 ★ペアで迷子探しをしよう。 ○迷子のお知らせをするときに必要なことを確認する。</p> <p>○迷子の人物を決め、お知らせを考える。</p> <p>○ペアで迷子探しゲームをする。</p> <p>4 学習の振り返りをする。 ★話を聞くときに大切なことを振り返ろう。 ○教科書 (P. 37) 「音のたかさ」を読み、あめという言葉の音の高さと意味について考える。 ○「はし」や「しろ」など、音の高さで意味の変わる言葉を見付ける。</p> <p>○学習の振り返りをする。</p> | <p>・話の内容を正しく聞き取り、絵の中の人物を見付ける学習であることをつかませる。</p> <p>・教科書 (P. 5) 「一年生の まなびを たしかめよう」で話すときや聞くときに大切なことを確認させる。</p> <p>・聞き落として困った経験なども話させるとよい。</p> <p>・話の内容を正しく聞き取り、絵の中の人物を見付けることをつかませる。</p> <p>・年齢や性別、服や持っている物など、どのような情報があるとその人のことが分かりやすいのか考えさせる。</p> <p>・聞くときには、大事なことを選択して聞けるようにする。</p> <p>・迷子のお知らせの場合、どのような情報があるとよいと考えさせる。</p> <p>・二次元コードを読み込み、音声「まいごのお知らせ」を聞かせるとよい。</p> <p>・大事なことはメモすることを伝え、単語でメモを取らせるようにする。</p> <p>・教科書 (P. 36) を参考にして、メモの取り方を考えさせる。</p> <p>・服の模様や帽子の色、持ち物の案内がなかったり、聞き漏らしたりしたら、探せたかどうかを考えさせる。</p> <p>【評】迷子探しの活動を通して、話を集中して聞き、聞くときに大事なことは何かを考え、日常に生かそうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・メモにどのようなことが書いてあればよかったのか確認させる。</p> <p>・話すときは、大事なことを順序よく、はっきりとした発音で話すことを確認させる。</p> <p>・聞き手が人を探すためにはどのような情報があればよいと考えさせる。</p> <p>・聞き手と話し手に分かれて、実施させる。</p> <p>【評】迷子探しゲームの活動を通して、自分の聞きたいことを落とさないように集中して聞く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・大事なところを落とさずに話したり、聞いたりすることができたかを、相互評価させる。</p> <p>・聞き手のメモは、単語や簡単な言葉で書かせるようにする。</p> <p>・アクセントの違いで意味が変わってくことに気付かせる。</p> <p>・実際にアクセントを変えて音読させて確認させる。</p> <p>【評】音の高さで意味の違い言葉探しの活動を通して、アクセントによる語の意味の違いなどに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書 (P. 37) 「たいせつ」で、話すときや聞くときに大切なことをまとめさせる。</p> <p>・教科書 (P. 37) 「ふりかえろう」で学習を振り返らせる。</p> |

【 備 考 】